

## 【諮問事項】資金計画(運営費)に関する件

運営費について総額1,160億円の資金計画を定めることについて、理事会の承認を求める。

### 1. 資金計画(運営費ほか)の全体像について

- 協会全体の資金計画として、会場建設費以外に運営費のほかに協賛事業、政府からの受託事業がある。
- 運営費予算は、1,160億円(2019年12月BIE登録申請書 809億円から+351億円)
- 従前より管理費削減に努力するとともに、運営参加など運営費削減に寄与する協賛獲得を実施している。引続き支出抑制とともに、営業施設からのロイヤリティ収入拡充等により収入増加に取り組んでいく。
- 協賛事業についても企業・団体・公営事業者との間で会場整備・運営の協賛に向けた協議を重ね、今般827億円(うち契約済・契約手続き中767億円)を見込んでいる。

収入(億円)		支出(億円)	
入場券売上	969	運営費	1,160
その他収入	191		
運営費収入計	1,160	運営費支出計	1,160
協賛収入(資金・現物)	827	協賛事業	827
受託収入※	299	受託事業※	299

※受託事業は、増額・事業増加する予定があります。受託元からの予算措置を勘案し、以下基準で記載しております。

【内訳】：①日本館事業：約30億円(契約基準⇒政府予算では他受託先と混在の為)

②途上国支援：約70億円(政府予算計上基準で記載)

③会場内の安全確保：最大199億円程度(政府予算計上基準で記載)

議2-1

## 【参考】資金計画(運営費)に関する件

### 4-1. 運営費：収入予算について +351億円

- 入場券売上については、想定来場者数2820万人の80%（2200万人）を前提に、適切な資金計画策定のため固めに算出 +267億円
- ロイヤリティ等収入については、飲食・物販店舗の充実、ライセンス商品の販売促進で+48億円
- その他については、会場内の施設・設備の利用料などを見込み +36億円

(単位：億円)

項目	19年12月 BIE登録 =基本計画	23年12月	増減 (19.12比)	主な増減事由
入場券売上	702	969	267	入場券の売上
その 他 収入 ロイヤリティ等	62	110	48	飲食・物販ロイヤリティ、ライセンス商品
その 他 収入 その他	45	81	36	施設利用料、公営競技等収入
合計 (自主財源)	809	1,160	351	

4-2. 運営費：収入予算① 入場券の販売目標について

1/2

●入場券販売目標

- 関西広域エリアの人口、インバウンドの増加から、大阪・関西万博では想定来場者数2820万人を設定（通期パス・夏パスの複数来場を勘案し、2300万枚のチケット販売を想定）
- 愛知万博と同様、前売りで6割となる1400万枚の販売を目指す。うち700万枚を経済界での購入を期待。
- 時代の変化により、旅行会社等による委託販売の減少、Web販売の増加を想定。

愛知実績

最終販売枚数：1,720万枚（2,200万人）			
前売販売実績：939万枚(55%)		会期中販売実績：781万枚(45%)	
企業等直販 382万枚	旅行会社等委託販売 557万枚	委託販売 475万枚	会場当日 299万枚

直販7万枚

大阪・関西目標

最終販売枚数：2,300万枚（2,820万人）				
前売販売：1,400万枚（60%）			会期中販売：900万枚（40%）	
企業等直販 700万枚を期待	旅行会社等 委託販売	公式Web販売	旅行会社等 委託販売	公式Web販売

## 運営費の執行管理について(参考資料)

運営費の執行管理に関し、博覧会協会は以下の取組みを実施する。

- ・役員(理事及び監事)が参加する会議(運営費執行管理会議)を設置・開催し、協会事務局より執行状況を説明し、質疑応答を行う。説明内容は、①チケットの販売状況、②支出金額とその内容、③支出抑制策とする。
- ・開催頻度は四半期に一回開催される定例の理事会の間に少なくとも一回、その他必要に応じ随時開催することとする。
- ・運営費執行管理会議は代理出席を可とするが、代理が出席した場合においては、役員(理事及び監事)本人に対して遅滞なく報告する。
- ・四半期毎に開催されている理事会においては、運営費執行管理会議における議論内容を担当副事務総長が報告する。

